

# 千葉大学病院にて子宮頸癌IVB 期の治療をされた 患者の皆様、ご家族の皆様へ

2025 年 2 月 7 日  
婦人科・放射線科

婦人科・放射線科では、子宮頸癌IVB 期に対する化学療法・骨盤部放射線治療の多施設共同調査研究を行っており、以下に示す方の診療情報等を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に診療情報等を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

## 本文書の対象となる方

2016 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日を治療開始日として、  
子宮頸癌IVB 期に対して化学療法を受けられた方

## 1. 研究課題名

IVB 期子宮頸癌に対する化学療法・骨盤部放射線治療の多施設共同調査研究  
(婦人科悪性腫瘍研究機構(JGOG)・日本放射線腫瘍学研究機構(JROSG) 共同研究)

## 2. 研究期間

2023年承認日～2028年3月31日

この研究は、千葉大学医学部附属病院倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

## 3. 研究の目的・方法

遠隔転移を有するIVB 期子宮頸癌に対しては抗がん剤を用いた化学療法が標準治療とされています。近年、海外では化学療法に骨盤部放射線治療を加えることでの治療成績向上が報告され始めています。今回、本邦でのデータを収集し、骨盤部放射線治療の意義を検討することを目的に、調査研究が計画されました。

本研究は多施設共同研究であり研究代表機関(神奈川県立がんセンター)およびJGOG・JROSG 事務局へのデータの提供を行います。氏名等の個人を識別できる情報を削除し、パスワード付きのExcel シートを使用し、特定の関係者以外がアクセスできない状態で研究代表機関およびJGOG・JROSG 事務局に送付します。氏名とデータを連結するための対応表は、千葉大学の研究責任者と千葉大学の研究事務局が保管・管理し、外部への提供は行いません。

#### 4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療録に記載されている

- ・治療前情報（年齢、進行期、合併症など）
- ・化学療法および放射線治療内容（使用薬剤・回数、放射線線量など）
- ・治療後情報（生存の有無、再発の有無、再発部位など）

#### 5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究代表機関：神奈川県立がんセンター

研究代表者：神奈川県立がんセンター 放射線治療科 土田圭祐

本学の研究責任者：千葉大学医学部附属病院 婦人科 甲賀かをり 教授

【共同研究機関】

婦人科悪性研究機構(JGOG)参加施設（全国 183 機関）より募集

参照 URL : [https://jgog.gr.jp/institution/institution\\_map.html](https://jgog.gr.jp/institution/institution_map.html)

日本放射線腫瘍学研究機構(JROSG)婦人科腫瘍委員会参加施設(全国 144 機関)より募集

参照 URL : <https://jrosg.jp>

#### 6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学医学部生殖医学教室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

#### 7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。試料・情報の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学医学部附属病院婦人科

医師 奥谷理恵

043(222)7171 内線 5312